
【1】第16回高校生理学研究発表会のご案内

【2】科学コンクールについて

【1】第16回高校生理学研究発表会のご案内

千葉大学では、全国の高校生を対象に、日頃から課題研究活動等で行っている自然科学分野の研究発表の機会を設け、優れた発表を表彰して奨励すると共に、個々の研究内容にアドバイスを与えることで、広く自然科学教育の向上と充実を図ってまいりました。

今年で第16回を迎える高校生理学研究発表会は、新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し、オンライン(LINC Biz)による発表資料の公開と、対面による口頭発表を併用して開催します。

研究成果の発表の場として、また、研究のアドバイスを受ける場として、多くの高校生が参加されることを期待しています。

この催しには、文部科学省、朝日新聞社をはじめ多くの機関・組織の共催・後援・協賛をいただいています。

●日時・会場

口頭発表：令和4年9月24日(土) 千葉大学工学部

(募集：令和4年8月24日(水)～令和4年8月30日(火) 正午)

(発表資料の閲覧：令和4年9月22日(木)～令和4年9月30日(金))

●研究発表の分野

応募できる分野は次の8分野です。英語による発表も受け付けます。

- (1) 物理Ⅰ(物理学一般、宇宙物理など)
- (2) 物理Ⅱ(機械工学、電気工学、土木建築工学、ロボット工学、航空工学など)
- (3) 化学Ⅰ(物理化学、無機化学、分析化学など)
- (4) 化学Ⅱ(有機化学、生化学、環境化学など)
- (5) 生物Ⅰ(動物科学、栄養・病理・生理学、心理学など)
- (6) 生物Ⅱ(植物科学、園芸学、微生物学など)
- (7) 地学(地質学、気象学など)
- (8) 数学・情報

●開催方法

(1) 申込書に記載された代表者のメールアドレス宛に、招待メールを送信する。

(2) 代表者は、発表資料(音声解説付スライドとPDF)を作成し、LINC Bizに用意されている各々の発表チャンネルに9月19日(祝・月)までに投稿する。また、LINC Bizのダイレクトメッセージによりオペレーターからの連絡を受けて発表資料(PDF)をオペレーターへ送付する(9月20,21日)。

(3) 口頭発表の発表者は代表者を含む最大2名とする。9月24日の発表会への参加は発表者、引率教員、審査委員、実行委員等の登録者に限り、見学だけの参加は認めない。

- (4) 発表者は送付した発表資料（PDF）を使用して口頭発表を行う。パソコン操作は会場のオペレーターが行う。なお、発表制限時間は1チームあたり7分間とし、発表後に3分間の質疑応答時間を設ける。
- (5) 連続する2セッション（AB 9:30～11:30, CD 11:45～13:45, EF 14:00～16:00）の発表者が会場（教室）に集合し、発表及び他の発表を見る。
- (6) 優れた発表には奨励賞を授与し、千葉大学高大連携支援室のWEBサイトで公開する。
- (7) 審査委員から発表者へのコメントは、LINC Bizにて閲覧可能とする。

なお、新型コロナの感染状況により、口頭発表はテレビ会議システムを使用した質疑応答に変更する場合もある。その判断は9月上旬までに行い、申込責任者に連絡する。

●主催

千葉大学

●共催

千葉県教育委員会

●後援

文部科学省、千葉市、千葉市教育委員会、千葉県高等学校長協会、千葉県高等学校教育研究会理科部会、千葉県高等学校文化連盟、国立研究開発法人科学技術振興機構、日本理化学協会、株式会社JTB、朝日新聞社

●協賛

公益財団法人双葉電子記念財団、ヨウ素学会、DIC 株式会社総合研究所、千葉県高等学校 PTA 連合会、千葉大学生協同組合

第16回高校生理学研究発表会の「募集要項」、「応募マニュアル」、「申込書」、「発表資料の作成について」を下記URLに掲載しています。

<http://www.cfs.chiba-u.jp/koudai-renkei/event/requirements.html>

【2】科学コンクールについて

- 「日本学生科学賞」 URL：<https://event.yomiuri.co.jp/jssa/>

物理、化学、生物、地学、広領域（複数の分野にわたる研究など）の5つの分野は都道府県ごとに募集。地方審査を通過し、都道府県代表に選ばれた作品が中央審査に進みます。情報・技術、応用数学分野は地方審査を行わず、中央一括審査の形で応募を受け付けます。

高校生が中央最終審査で上位入賞すると、学校推薦型選抜や総合型選抜の受験資格が得られるほか、ISEF（国際学生科学技術フェア）へ出場できるチャンスがあります。

令和4年度地方審査（千葉県児童生徒・教職員科学作品展）の出品受付は9月28日（水）です。実施要項は下記のURLをご覧ください。

https://event.yomiuri.co.jp/jssa/assets/pdf/contact/chiba_req66.pdf

- 「高校生・高専生科学技術チャレンジ（JSEC＝Japan Science & Engineering Challenge）」

URL：<https://manabu.asahi.com/jsec/>

JSEC（Japan Science & Engineering Challenge）は、全国の高校生と、高等専門学校生を対象に、2003年に始まった科学技術の自由研究コンテストです。対象となる研究分野は、伝統的な「理科」の範囲に加え、ロボット工学、数学、行動・社会科学などもあり、多岐にわたります。また都道府県ごとの地方審査はなく、全国から直接応募できます。自発的に考えて課題を見つけ、解決し、さ

らに展開しようとする若い人材を応援します。また国際競争力を身につけるために、早くから世界に視野を広げてほしいと考え、創設時から国際大会「ISEF」と連携し、日本代表を派遣しています。また、大学の総合型選抜、学校選抜型などで評価される対象のコンテストとなっています。

JSEC2022は9月1日から応募開始（～10月4日まで）、最終審査会は12月10・11日に実施します。

※「日本学生科学賞」と「JSEC」の重複応募はできません。

○「坊っちゃん科学賞研究論文コンテスト」

URL：<https://tus-alumni.risoukai.tus.ac.jp/event/botchan-science>

- ・理科、数学、情報の授業や科学クラブなどでの自然科学に関する調査について
- ・科学技術、環境・生態保護、災害、省エネ関係、実験器具の開発、及び地域に根ざした研究テーマ等これらに関する興味と関心、知的探求心などをもって取り組んだ個人・グループでの研究成果について

「論文応募票」の提出	2022年 7月31日（日）	
学校経由論文の提出	2022年 8月31日（水）	必着
審査結果発表	2022年 9月30日（金）	発送
受賞者の発表会	2022年 11月13日（日）	

【編集後記】

関東も梅雨に入りました。梅雨の時期は、低気圧の影響で自律神経が敏感に反応して、機敏に動いてしまい頭痛やめまいを感じる人（気象病）が多くなるといわれています。気象病は、自律神経の失調だそうです。自律神経は、体調を正常に保つために、呼吸、血液循環、消化、体温調整をはじめさまざまな機能をコントロールしている神経です。些細な事が気になる人や、精神的なストレスを受けると、発疹など身体に変化が現れる人も気象病になりやすいそうです。

症状の予防対策として、「十分な睡眠をとる」、「頭の血行を良くする」、「38℃～40℃の温度での入浴」、「首、肩のストレッチ」の4つが効果があるそうです。また、もう1つの方法として、耳のマッサージも効果があるそうです。両耳を手でつまんで上下や横に引っ張ったり、つまんだままグルグルと回したりしましょう。さらに手のひらで耳全体を覆い、後ろ方向に円を描くようにゆっくりとグルグル回したりもしてみましょう。仕事の合間にできそうですね。

最近加齢のためか耳が少し遠くなったような気がしますが、雉の鳴き声は自宅からよく聞こえます。また、雉をたまに目撃することもあります。すぐ近くの調整池のほとりにでも巣があるのでしょうか。ストレス発散をかねて双眼鏡で巣を見つけて、のんびり観察してみたいと思います。（橋）